

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								2.7	
Q1 室内環境					-		-	-	
1 音環境				-	-		-	-	
1.1 室内騒音レベル				-	-		-		
1.2 遮音				-	-		-		
1	開口部遮音性能			-	-		-		
2	界壁遮音性能			-	-		-		
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)				-		-		
4	界床遮音性能(重量衝撃源)				-		-		
1.3 吸音				-	-		-		
2 温熱環境				-	-		-	-	
2.1 室温制御				-	-		-		
1	室温			-	-		-		
2	外皮性能			-	-		-		
3	ゾーン別制御性			-	-		-		
2.2 湿度制御				-	-		-		
2.3 空調方式				-	-		-		
3 光・視環境				-	-		-	-	
3.1 昼光利用				-	-		-		
1	昼光率			-	-		-		
2	方位別開口				-		-		
3	昼光利用設備			-	-		-		
3.2 グレア対策				-	-		-		
1	昼光制御			-	-		-		
3.3 照度				-	-		-		
3.4 照明制御				-	-		-		
4 空気質環境				-	-		-	-	
4.1 発生源対策				-	-		-		
1	化学汚染物質			-	-		-		
4.2 換気				-	-		-		
1	換気量			-	-		-		
2	自然換気性能			-	-		-		
3	取り入れ外気への配慮			-	-		-		
4.3 運用管理				-	-		-		
1	CO ₂ の監視			-	-		-		
2	喫煙の制御			-	-		-		
Q2 サービス性能				-	0.43	-	-	3.5	
1 機能性				-	-		-	-	
1.1 機能性・使いやすさ				-	-		-		
1	広さ・収納性			-	-		-		
2	高度情報通信設備対応			-	-		-		
3	バリアフリー計画			-	-		-		
1.2 心理性・快適性				-	-		-		
1	広さ感・景観			-	-		-		
2	リフレッシュスペース	-	-		-				
3	内装計画			-	-		-		
1.3 維持管理				-	-		-		
1	維持管理に配慮した設計			-	-		-		
2	維持管理用機能の確保			-	-		-		
2 耐用性・信頼性				3.1	0.50		-	3.1	
2.1 耐震・免震・制震・制振		防振吊金物を採用		3.2	0.50		-		
1	耐震性(建物のこわれにくさ)			3.0	0.80		-		
2	免震・制震・制振性能			4.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数		床:長尺塩ビシート貼、壁:ビニルクロス貼 20年 天井:石膏ボード 30年		3.6	0.30		-		
1	躯体材料の耐用年数			3.0	0.20		-		
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔			2.0	0.20		-		
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔			5.0	0.10		-		
4	空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.10		-		
5	空調・給排水配管の更新必要間隔			5.0	0.20		-		
2.4 信頼性		給水 VP(B) 排水VP(B) 通気VP(A) Eは不使用 送風機 20年		2.4	0.20		-		
1	空調・換気設備			3.0	0.20		-		
2	給排水・衛生設備			2.0	0.20		-		
3	電気設備			3.0	0.20		-		
4	機械・配管支持方法			3.0	0.20		-		
5	通信・情報設備			1.0	0.20		-		

3 対応性・更新性				4.0	0.50	-	-	4.0
3.1 空間のゆとり				4.6	0.30	-	-	
	1	階高のゆとり	階高 3.9m以上	5.0	0.60	-	-	
	2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 0.13	4.0	0.40	-	-	
	3.2 荷重のゆとり		積載荷重 4500N/m²以上	5.0	0.30	-	-	
	3.3 設備の更新性			2.8	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性	ケーブルラック配線を採用	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性		5.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性		1.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57	-	-	2.1	
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	3.8	
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.2	
1 建物外皮の熱負荷抑制			-	-	-	-	-	
2 自然エネルギー利用			3.0	0.13	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化			BEIm=0.00	5.0	0.63	-	5.0	
4 効率的運用				3.0	0.25	-	3.0	
	集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング		-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.5	
1 水資源保護				3.0	0.20	-	3.0	
	1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.4	0.60	-	3.4	
	2.1 材料使用量の削減			2.0	0.14	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			-	-	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.29	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		フロアリュームソイルドNW(床)、RC-40(路盤材)	4.0	0.29	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		No.1 LGS下地を採用	4.0	0.29	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				4.4	0.20	-	4.4	
	3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			5.0	0.70	-	-	
	1	消火剤		-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	発泡剤を用いた断熱材を使用していない	5.0	1.00	-	-	
	3	冷媒		-	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.6	
1 地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2排出率44%	5.0	0.33	-	5.0	
2 地域環境への配慮				2.8	0.33	-	2.8	
	2.1 大気汚染防止		ガス設備の設置なし	5.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.2	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
	3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
	1	騒音		3.0	1.00	-	-	
	2	振動		-	-	-	-	
	3	悪臭		-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
	3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	1) チェックリストの項目の過半を満たしている 2) 広告物照明を行っていない	5.0	0.70	-	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	